

解答用紙

受験者 氏名	はくにゃん
-----------	-------

受験者シールのバーコードシール
1枚をこの上に貼り付けてください。

【設問1】 事例記録の中の「相談の概要」【略A】の記載に相当する、相談者がこの面談で相談したいことは何か。事例記録を手掛かりに記述せよ。

妻の2人目出産に伴い、3年前に約束した育児休暇取得を妻から依頼されているが、CLは「職場に言い出せず」、どのように処するべきか悩んでいる点。

【設問2】 事例記録の【下線B】について、この事例を担当したキャリアコンサルタントがどのような意図で応答したと考えるかを記述せよ。

良来言談時、話しにくい様子になっていたCLに丁寧に話を伺い信頼関係が築けた点。
悪いCLの仕事の状況が3年前と変わった点や異動時の状況が聞けていた点。

【設問3】 あなたが考える相談者の問題(①)とその根拠(②)について、相談者の言動を通じて、具体的に記述せよ。

① 問題 妻とは3年前に休暇取得について約束しているにもかかわらず、自身の仕事の状況が変わり取得しづらくなったことをはっきり妻に話せずコミュニケーションが不足している。

② その根拠 妻から休暇取得について「いいよね」と言われ「え、うん、いいよね」と3年前の約束から理解しているにもかかわらず、「職場の雰囲気では言いつらい」「それなら言えない」と職場に言い出せず、CLの取得が当然と感じている妻との認識のギャップがある。

【設問4】 設問3で答えた内容を踏まえ、今後あなたがこのケースを担当するとしたら、どのような方針でキャリアコンサルティングを進めていくか記述せよ。

傾聴を続けることでCLの信頼関係をしっかり構築し、CLが話をしていただけのように努める。そのうえで、CLが希望していた現在のアプリ開発の仕事に対する想いや、異動に至った経緯等の状況を伺い仕事観について語っていた点。その中からなぜCLが職場に休暇取得を言い出すことが出来ないのかを問いつつ内省していた点。そのうえで妻との会話の機会について提案していく。最終的にはCLと妻が共に協力して仕事と育児の両立が出来るよう支援させていく点。

注：解答用紙の裏面および行外に記述されたものは採点されません。